

蒲刈中学校区小中一貫教育だより

令和7年3月発行

今年度も蒲刈中学校区では、小学校と中学校が手を携えて、様々な取組を行ってきました。
下半期の取組の一端を紹介します。

○ 学習発表会の内容をお互いに鑑賞

中学生は太鼓の演奏と合唱を、小学生はそれぞれの学年の劇と全校合唱などを披露しました。

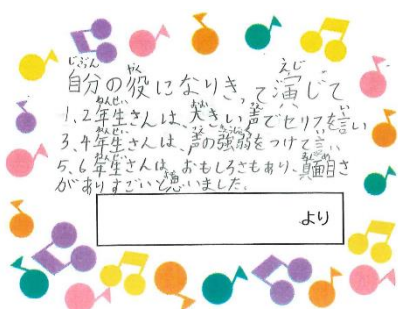
鑑賞したあとは感想を直接みんなの前で話して伝えたり、手紙でよかったところを伝えたりして、本番に向けてのエールを送り合いました。



中学生の息の合った演奏を見て、小学生は中学生に憧れの眼差しを向けていました。



直接感想を伝えてもらうことは、お互いとても嬉しく、本番への励みにもなりました。
また、中学生から小学生へのプレゼント渡しもあり、温かい雰囲気での鑑賞会となりました。



一人一人が感想を手紙に書き、掲示したり、タブレット端末を通してみんなで読んだりしました。左の手紙は中学生から小学生に宛てたものです。低学年でも読めるように振り仮名を書いている気遣いも素敵ですね。

○ 第2回小中合同避難訓練（地震・津波災害を想定）

地震・津波を想定した避難訓練として、地震から身を守る訓練、津波を想定した垂直避難の訓練を行った後、小学生と中学生が一緒になって避難所での生活についての学習を行いました。



呉市総務部危機管理課
講師による講習



段ボールベッドづくり体験



間仕切りテントづくり体験

実際の避難を想定して訓練することで、小中学生共に防災意識を高めることができました。来年度も防災教育の取組はしっかりと進めていきます。

○ 小中一貫教育合同研修会（教職員研修会）

1年間を通して、小中の教職員が一堂に会して様々な行事の計画や反省、授業改善の交流等を行ってきました。今年度を振り返り、2つの部会で成果や来年度へ向けての課題を話し合いました。内容を一部紹介します。

「伸ばす学力」部会

① 授業改善による学力向上

- 子ども同士の対話を意識した授業改善を行うことで、話合いの深まりが見られるようになった。
- 教職員同士で授業交流を行うことで、より深い学びへとつなげる授業展開につなげることができた。

② 自分の思いや考えを自己表現することができる授業等

- 全校の前で進んで自分の考えを発言できる児童が増えた。
→今後も全校で発表の機会を大切にし、小中での交流を積極的に行う。
- 「新聞スピーチ」や「1分間スピーチ」を継続することで、「自分の考えをわかりやすく表現できた」と答えた生徒の割合が昨年度より上昇した。
→自己評価だけでなく、お互いの評価も大切に、更なる表現力の向上を目指す。

「育む心」部会

① 「ふるさと学習」の充実

- 地域教材を活用した教育活動の展開により、地域のために自分にできることを具体的に考え、行動に移すことができた。
- 地域で活躍するゲストティーチャーの話を聞き、郷土愛を育むことができた。

② 自己肯定感を向上させる異校種・異学年交流の充実

- 児童同士がお互いの頑張りやいいところをカードに書き込み、交流することなどを通して、自己肯定感の育成につなげることができた。
- 合同運動会の練習の時に、異学年で応援したり声を掛け合ったりする児童生徒の姿が見られた。
→異学年交流で中学生が主体的に活動できる場面を増やす。